

新学習指導要領の全面実施を見据えた

学校現場×地域の介護資源の 連携を進めるシンポジウム

令和元年
(2019年)

8月1日(木)

参加無料

時間：13:30～15:45（受付 13:10～）

会場：熊本県医師会館 2階大ホール

（熊本市中央区花畑町 1-13）

－次第－

開会挨拶 熊本県健康福祉部長寿社会局長 松岡 正之
熊本県教育長 古閑 陽一

基調講演 「福祉系高校への期待と学校現場における介護の魅力発信（仮）」【50分】
文部科学省初等中等教育局視学官 矢幅 清司 氏

事例発表 「小学生の高齢者施設訪問学習の取組（仮）」【25分】
熊本市立川上小学校校長 青木 透 氏

パネルディスカッション 【45分】

パネリスト 文部科学省初等中等教育局視学官 矢幅 清司 氏
熊本市立川上小学校校長 青木 透 氏
学校法人松浦学園城北高等学校校長 竹原 英治 氏
熊本県老人福祉施設協議会会長（特別養護老人ホーム「くわのみ荘」理事長・施設長）
跡部 尚子 氏

閉会挨拶 熊本県高等学校教育研究会福祉部会会長 丁 薫（県立芦北高等学校 校長）

募集人数

定員 100名（先着順）

対象者

ご興味のある方、どなたでも
ご参加ください。

趣旨

熊本県では、福祉系高校等と連携し、地域ぐるみで小中学生が「介護」や「高齢者との関わり方」への関心を高められるよう取り組みを進めて参ります。そのキックオフとして、文部科学省の矢幅視学官らをお招きし、シンポジウムを開催します。

申込方法

裏面の参加申込書にご記入のうえ、FAXまたはE-MAILでお申し込みください。

介護現場革新会議パイロット事業とは

厚生労働省では、介護人材の確保等に向けて、昨年12月、介護に係る全国団体の代表で構成する「介護現場革新会議」を立ち上げ、複数回の会議を経て、今年3月に**基本方針（※）**が取りまとめられました。今年度、この基本方針に基づき、本県を含む全国7自治体で、地域の特色を活かしながら、本パイロット事業を実施しており、本県では、具体的な取組の1つとして「福祉系高校等と連携した学校現場への働きかけ」を推進します。

（※）基本方針

- ①人材不足の時代に対応したマネジメントモデルの構築
- ②ロボット・センサー・ICTの活用
- ③介護業界のイメージ改善と人材確保・定着促進（新規介護人材の確保など）

具体的には、地域の福祉系高校の先生、福祉団体（事業所等）および中学校の先生などが連携し、小中学生が「介護」や「高齢者との関わり方」などに関心を持てるような取組を地域ぐるみで推進し、小中学生が思い出に残る体験学習等を通して、介護職への関心や地元での就労意欲を高めることを目指します。

基調講演 講師



やはば せいじ
矢幅 清司 氏

文部科学省初等中等教育局 視学官
（併）同参事官（高等学校担当）付産業教育振興室教科調査官

昭和34年生まれ。教育学修士。昭和58年に公立学校教員として入職し、平成11年より文部省初等中等教育局職業教育課教科調査官として勤務。平成27年より現職。専門分野は、福祉科教育、学校教育、教員養成、介護福祉士養成教育。

学校現場×地域の介護資源の連携を進めるシンポジウム 参加申込書

【7月31日（水）〆切】 定員になり次第締め切りますので、予めご了承ください。

申込先：熊本県健康福祉部長寿社会局高齢者支援課 企画班 行き

FAX：096-384-5052

E-MAIL：koureishien@pref.kumamoto.lg.jp

所属	役職	氏名

担当者氏名

連絡先

()

※お申込みは FAX 又は E-MAIL でお願いします。

※ご記入いただいた個人情報は責任を持って管理し、本事業の目的以外には使用しません。

※公共交通機関の利用をお願いいたします。

【お問い合わせ先】 熊本県健康福祉部長寿社会局高齢者支援課企画班

TEL：096-333-2215

住所：熊本市中央区水前寺6-18-1